

災害地点特定に有効な「119番ポイントカード」について

和歌山県 紀美野町消防本部

1 はじめに

紀美野町は、平成18年に旧野上町と旧美里町が合併して誕生した町で、和歌山県北部に位置し、紀ノ川の支流である貴志川が町の中央を東から西に流れ、その流域に広がる丘陵地と山地からなっています。

地形的にはおよそ東西19キロ、南北10キロで、北は紀の川市に接し、東は伊都郡かつらぎ町、南は有田郡有田川町、西は海南市にそれぞれ接しています。又、貴志川に沿って町を横断する国道370号は、世界遺産である霊峰高野山へとつながっています。

紀美野町消防本部は、昭和53年に旧2町による組合消防として発足しましたが、平成18年の構成町合併により町単体の消防本部となりました。

現在は、1本部1署、37名の職員（条例定数40名）と14台の消防車両で、管轄面積128.34km²、人口9,101人（平成30年4月現在）の生命と財産を守っています。

紀美野町の位置



2 経緯

当町は、約75%を山林が占め、携帯電話からの119番通報が年々増加する中で、目標物が少ないという山間地ならではの課題点を少しでも解消するため「119番ポイントカード」の設置を進めているところです。

平成17年から順次設置し、昨年末で11路線、378ヶ所に設置しました。

3 「119番ポイントカード」の作成

材質は塩化ビニール製で、大きさは直径40センチメートルです。元々、電柱用に作られた消火栓標識を活用して作成しました。

最初は、電柱のみに設置していましたが、今では色々な部材（補助材）を用いて、ガードレール、カーブミラー、フェンス等に取り付けたり、立て看板として設置しています。



電柱用



立て看板



ガードレール用



フェンス用

管内には関西随一のすすきの高原である生石高原があり、秋にはすすきを楽しみに県内外から観光客が訪れています。ハイキングコースの登山道に設置のポイントカードには紀美野町や消防に関するクイズを一緒に掲載し火災予防広報の一つとしても活用しています。

